

透析中の疼痛緩和を目的とした エイトの臨床使用について



医療法人社団醫光会 おうら病院
診療技術部
部長 鈴木 雄二 様



【はじめに】

透析中に発生する様々な疼痛に対し、オンラインHDFの施行、穿刺針の変更、温罨法や冷却法、低周波治療などを行ってきたが、未だ本当に有効な方法が確立されていない。現にすべての方法を試しても、効果が得られない人の方が多い。これらの患者に対し、日本初の交番磁界治療器（以下エイト）を使用する機会を得たので、透析中の疼痛緩和効果があるか検証した。

【対象患者】

性別：男性4名 女性1名 計5名

年齢：73.6±14.4歳

透析歴：9.6±8.4年

症例① 透析中の肩の痛み

症例② 透析中の肩の痛み

症例③ 透析中の手先の痛み

症例④ 透析中のシャント肢、腰の痛み

症例⑤ 透析針先の痛み

【除外基準】

メーカーの説明書を参考に、以下に当てはまる患者は除外とした。

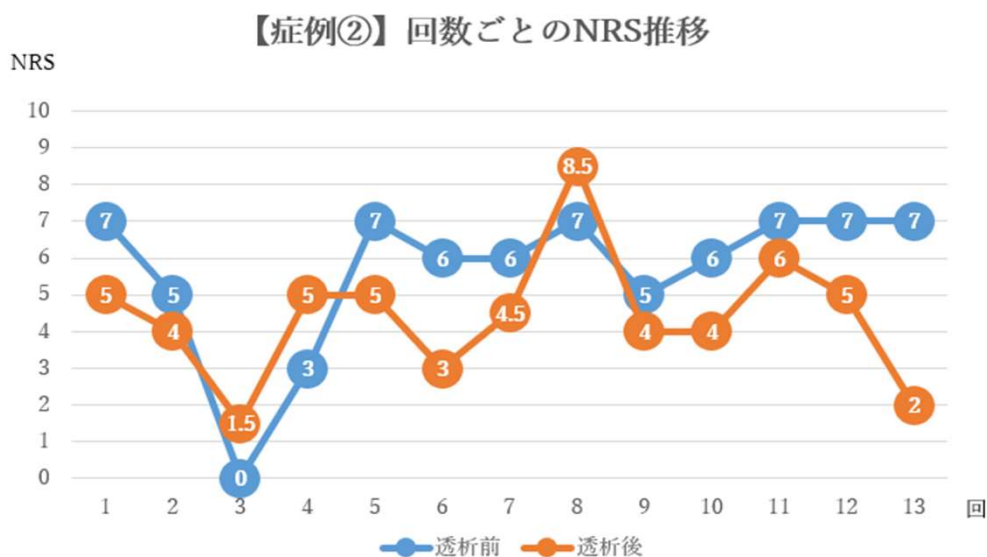
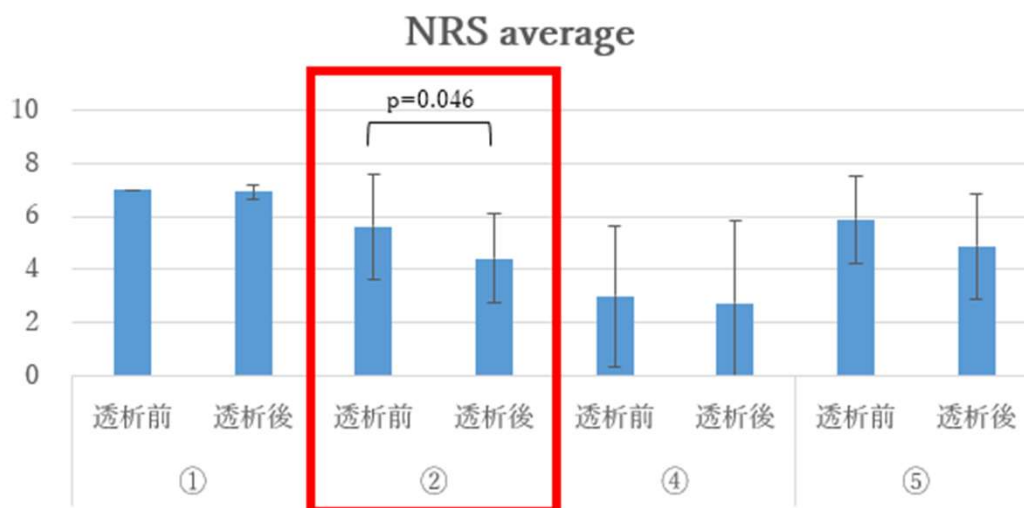
- ・体動が多く、安静が保てない
- ・ペースメーカーを使用している
- ・シャント肢に傷、発疹、発赤がある
- ・シャント感染が疑われる
- ・今回の研究の趣旨と検査について説明したが同意を得られない患者
- ・疼痛緩和の痛み止めを3剤以上服用中の患者

【方法】

- ・透析毎にエイトを疼痛箇所へ使用し、透析前後の痛みの度合いをNRSにて評価した。（0～10点 11段階）
- ・現在の透析条件は変更しない。
- ・透析開始30分～1時間後より治療器を当て、1回30分間の治療とする。
- ・1透析につき1回使用。
- ・毎透析前後にNRSで疼痛度合いを確認する。
- ・透析前・透析3時間目、透析後の血圧を観察。

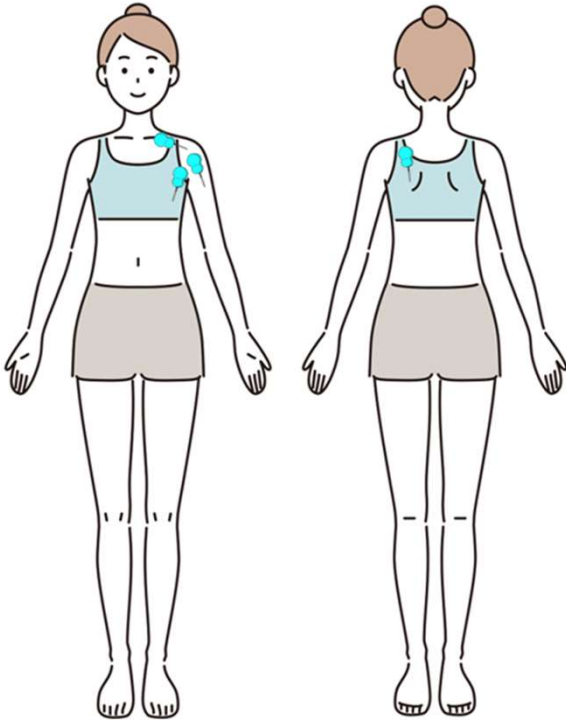
【結果】

- ・症例③の患者は3回目まで使用したがあまり効果が感じられず、ご本人からエイトの使用を中止したいとの申し出があり対象から除外した。
- ・症例②の患者で治療前後のNRSスコアは有意に低下した。
- ・透析中の血圧変動は、どの時点においてもエイト使用以前と差はなかった。

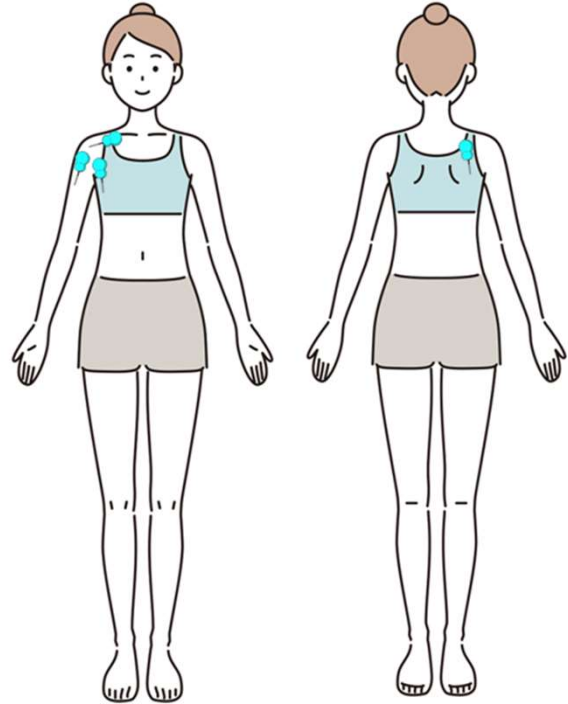


【パッドの固定方法】

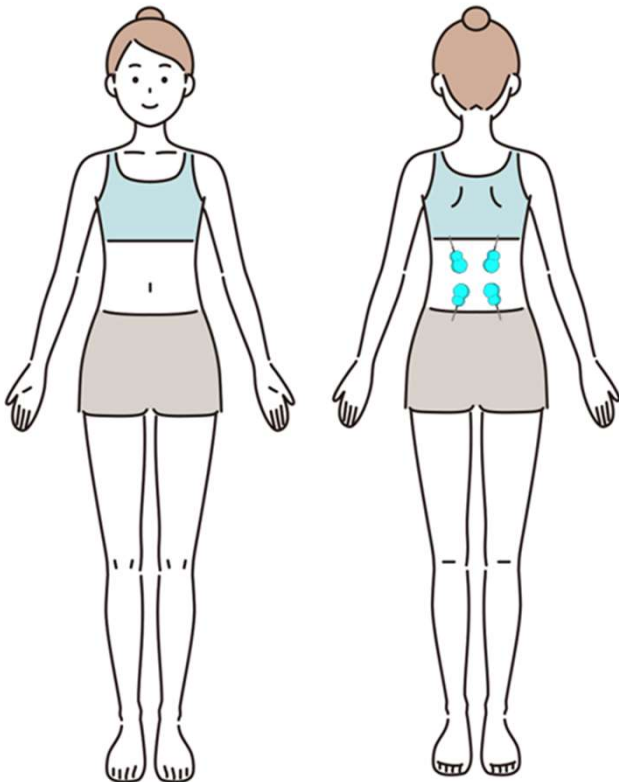
【症例①】 パッドを左肩前に3つ、左肩後に1つ固定



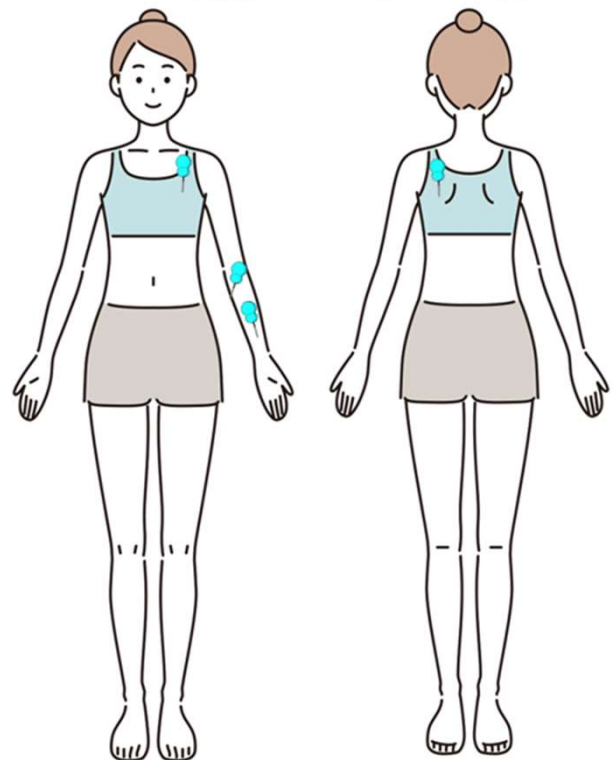
【症例②】 パッドを右肩前に3つ、右肩後に1つ固定



【症例④】 パッドを腰に4つ固定



【症例⑤】 パッドを左肩前後に1つずつ、
左前腕シャント肢に2つ固定



【考察】

5名中3名の患者において何らかの効果が実感された、その中でも症例②についてはNRSスコアで有意な低下が認められた。また、透析前、中、後の循環動態に大きな変化はなく透析中でも安全に使用できた。

エイトの使用を中止した患者は透析歴が長く、スチール症候群が原因の痛みの可能性があり、シャント血流に関する手先の痛みや痺れには効果が得られないのではないかと考えられた。

また、透析年数が比較的浅い患者のほうが効果を感じており、透析歴が長い方はいろいろな方法を試したが緩和されなかった患者のご経験から、半信半疑な思い込みも結果に影響している可能性も考えられた。

【まとめ】

エイトは透析中にも安全に使用でき、疼痛緩和にも有効であると思われた。しかし今回は短期間の検証であり、長期間使用での有効性の検証、適切なパッド位置などの検証も必要かと思われた。

本製品の薬事承認された使用目的は、「2種類の交番磁界を経皮的に照射し、神経を刺激することで疼痛を緩和させる」ことです。本症例報告は疼痛緩和を目的にエイトを使用した際の臨床使用経験を示しておりますが、実際にエイトに使用される際は上記使用目的およびエイトの添付文書等に記載の使用方法等をご確認頂いたうえで、それぞれの患者様への使用適否をご判断いただきますようお願い申し上げます。

薬事情報

販売名：エイト

承認番号：30400BZX00015000

一般的名称：交番磁界治療器

医療機器クラス分類：クラスII

(管理医療機器 特定保守管理医療機器)

株式会社P・マインド

〒861-5525

熊本県熊本市北区徳王2-8-6

TEL 096-223-6826

MAIL contact@p-mind.co.jp